

ナースの星がお届けする、看護師のための学べる情報誌！

ナースマガジン NURSE MAGAZINE

創刊5周年！

2017-Summer vol. 20

何ぞやシリーズ 第14回
ACP(アドバンス・ケア・プランニング)って何ぞや? P.06

ナースマガジン創刊5周年記念特別座談会
aging in placeを叶えるための看護の役割 P.08

聴きある記
Acute stroke患者に対する
アウトカムを生む地域包括経腸栄養ケアの実践 P.12

おかげさまで創刊5周年! P.14

在宅医療連携拠点最前線～神奈川県横浜市の巻～
連携拠点は“個人タクシーの配車センター”だ P.16

訪問看護ステーション訪問レポート 第11回
横浜市神奈川区医師会訪問看護ステーション P.18

ケアに活かせる栄養療法の豆知識 第8回
さまざまな疾病を引き起こすAGEs P.19

体内に溜めない生活を！

新連載 ナースのイキイキワーキング！ 第1回
イキイキと働ける職場をつくるためには? P.21

TOPIC & INFORMATION
Tokyo EAT 発足他 P.23

教えて！退院支援の5つのこと 第4回
公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院
地域医療サービスセンター P.25

ナツちゃん ナスマガ犬 マーくん

5年

読者プレゼント
ソニー「AROMASTIC」スターターキット 2名様

詳しくは26ページへ▶

<http://www.nurse-star.jp>

Medi-Banx Inc.

各ケア領域についての指導経験豊富な医師、歯科医師、認定看護師など、多くのスペシャリストと、全国の地域中核医療機器卸販売会社にご賛同ご協力いただき、看護技術向上のために活動しています！

チーム医療と患者を支える看護師のために

ナースマガジン (15万部発行)

看護研修会

ナースの星Q&Aオンライン
<http://nurse-star.jp/>

メディバンクス株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-4-23 ビクトリーガーデン203
TEL 03-6447-1180 FAX 03-5785-2295
<http://medi-banx.com>

ケアエキスパートに学べ！

看護ケア Q&A

今回のテーマ

退院支援～地域での暮らしを支える～



監修

望月 あづさ 先生

医療法人伯鳳会 訪問看護ステーションしらひげ 管理者

Q1 病棟ナースの退院支援

認知症で要介護2の夫を介護している妻が、交通事故で緊急搬送されました。意識は清明ですが医療処置と生活介護の必要な身体状況での自宅退院になります。病棟ナースとして、退院支援に関わることはありますか。



Aさん自身に必要な医療・介護の相談だけでなく、夫の見守りや生活上の手助けを自分でできなくなることへの悩みを打ち明けられた、という情報があれば、Aさんも納得できる夫のサポートの方策も必要です。夫のケアマネジャーとの連携も必要となります。退院支援は患者という「点」だけではなく、患者の存在する「面」あるいは「立体」（家庭・地域・友人・知人・ペット・趣味など）のサポートです。安心・安全・安楽な在宅療養を、看護のそれぞれの領域が持つ情報を共有して支えていきましょう。

退院前カンファレンスの参加者全員で共有しておくべき情報※1

- 1 病状経過、介護情報、患者・家族の意向
- 2 (病院側が)どのような部分にサポートが必要と判断しているか
- 3 (病院側が心配する)在宅での検討課題

※1: 宇都宮宏子・編著: 退院支援実践ナビ.p47, 医学書院(2015)より

ナースの星Q&Aオンライン ★ <http://www.nurse-star.jp>

ハイネイケル®

濃厚流動食品



消化態

浸透圧
約360mOsm/L

エネルギー
0.8kcal/mL

- ◆日本人の食事摂取基準(2010年版)を参考に各種栄養素を調整、1日あたり1,200～1,600kcalを標準的な摂取量としています。
- ◆大豆ペプチド、コラーゲンペプチドを使用した消化態の濃厚流動食品です。
- ◆食物繊維にペクチン(100kcalあたり0.9g)を使用しています。
- ◆pHの低下により液体からゲル状に流動性が変化^(注)します。
- ◆水分補給に配慮し、100kcalあたり摂取できる水分量を110mLに調整しています。
- ◆液体栄養としての操作が可能です。

(注)胃酸の分泌量や酸度の違いによって、ゲル状に変化しない場合があります。

使用上の注意

- ①医師、管理栄養士等の指導によりご使用下さい。本品のみで栄養補給する場合は、各種栄養素の補給量や水分量に注意してご使用下さい。
- ②静脈内には絶対に投与しないで下さい。
- ③容器に漏れ、膨張がみられるもの、開封時に内容液の色・味・臭いに異常がみられたもの、または凝固、分離しているものはご使用にならないで下さい。
- ④温める場合は開栓せずに湯に浸け、体温程度を目安として加温して下さい。長時間加熱、繰り返し加熱はしないで下さい。
- ⑤果汁などの酸性物質や多量の塩類などの混和は凝固することがありますので避けて下さい。
- ⑥開封後はすみやかにご使用下さい。全量を使用しない場合の残液は廃棄し、再使用しないで下さい。
- ⑦賞味期限内にご使用下さい。

*長期に保存した場合、原料由来の成分が沈殿あるいは液表面に浮上し、白くなることがありますので、よく振ってご使用下さい。栄養上に問題はありません。

栄養成分表示

1袋(375mL)あたり	1袋(500mL)あたり
エネルギー 300kcal	エネルギー 400kcal
タンパク質 12.0g	タンパク質 16.0g
脂 質 6.6g	脂 質 8.8g
糖 質 46.1g	糖 質 61.5g
食物繊維 4.1g	食物繊維 5.5g
ナトリウム 499mg	ナトリウム 665mg
水 分 330g	水 分 440g

[大塚製薬の通販] オオツカ・プラスワン
インターネットや電話でも
ご購入いただけます。

インターネット <http://otsuka.jp>



0120-256-137
(通話料無料 受付時間9:00~20:00)



販売者 株式会社大塚製薬工場

販売提携 大塚製薬株式会社

ハイネイケルに関するお問い合わせは

株式会社大塚製薬工場 お客様相談センター

0120-872-873

Q3

胃瘻と尊厳



食事中の誤嚥による窒息で入院していた患者が、在宅経腸栄養のルートとして胃瘻にすべきかどうか迷っています。胃瘻にするともう食べられなくなると思い込んでいるようなのです。ご家族も「胃瘻は尊厳を失う」と言い始めました。どうするかが一番患者にとって良いことなのか、悩みます。

A

常に患者・家族の意向を尊重することが前提ですが、胃瘻は正しい適応に対しても正しく使いこなすことで、QOLの向上にも大きく貢献します。胃瘻を選択しないから尊厳を守れるのではなく、尊厳を守るはどういうことかを考えた上での選択となるよう、十分な情報提供や話し合いを心がけたいですね。いつでもその都度、提案してみてはどうでしょうか。

胃瘻からの確実な栄養投与は、嚥下リハビリに取り組むための体力をつけ、誤嚥しても喀出できるようになる可能性も少なくありません。一口だけでもお好きなものを味わっていただく喜びもあります。むせながら食事をする苦痛や、栄養が摂れないでの何とかして食べさせなければという危機感から抜け出せ、口から一口食べることが楽しみになつたという患者・家族の感想もありました。

自分が家族だったら何が心配か、あるいは今まで退院前の家族から受けた相談事の記録などを振り返りながら、大切なケアが出来るよう指導しました。

排泄ケアに関する指導

面会に来た家族から、退院後の排泄ケアに自信がないと相談されました。
具体的にどのような提案や指導をしたらよいのでしょうか？

A

排泄ケアに伴うスキントラブルを防ぐために

- 洗浄剤は皮膚への刺激の少ない弱酸性のもので保湿成分を含むものがベター
- 洗浄剤を使って洗うのは1日に1回
(それ以外は洗い流したり拭き取ったりする)
- ふき取りは愛護的に
(汚れをとるためにゴシゴシ拭き取ろうとすると、摩擦が皮膚トラブルの原因に！)
- 洗浄後は保湿・保護を忘れずに(保湿剤は処方薬もあり)

参考：宇都宮宏子・編著「退院支援実践ナビ」第3章。3排泄 医学書院(2015)

ナースの星Q&Aオンライン ★ <http://www.nurse-star.jp>

Q2

糖尿病腎症患者の確認事項

夫が糖尿病腎症のため、在宅でもインスリン療法が必要です。高齢者のみの世帯なので定期訪問したいのですが、妻は不安を口にしつつも訪問されるのは嫌だと思います。退院前カンファレンスで確認しておくべきことはなんですか。

A

在宅でのインスリン療法は、治療への理解と、低血糖・高血糖への対処ができることが条件となります。本人が行う場合、家族が行う場合、いずれにしてもその家庭の中で継続していける環境を整えなければなりません。低血糖昏睡を起さないように初期症状(冷や汗・手指の震え・顔面蒼白・動悸など)や緊急時の対処法などを、できるだけ具体的に示して理解できるよう工夫します。

在宅セルフケアを継続するために整えておきたい要素を見極めて、地域の医療・介護資源をどう組み込んでいくかを、患者・家族の意向を尊重しながら少しずつ軌道に載せていくべきよいのではないかでしょうか。

また、他人を家に上げたくない、という思いも一度は受け止め、無理に説得する

在宅チームとの共有・確認事項^{※2}

糖尿病や腎症治療に関する事項	
治療目標	
対処 緊急時や判断に迷う際の	低血糖
	高血糖
	発見方法
その他の合併症など	感染症
	神経障害
セルフケア能力に関する事項(患者・家族両者)	
服薬管理	・空腹時血糖値や食後の血糖値(病院への連絡が必要な値) ・目標HbA1cの値 ・目標血压
	・低血糖時症状の経験の有無や認知能力(よろめきや転倒などの形で出ることもある) ・どのような場合に起きやすいのか原因の予測 ・低血糖時の対処方法(今までしていた対処確認)。緊急搬送が必要な場合
食事管理	・典型的な起きやすい症状(口渴・多飲・多尿・夜間の排尿回数増加など) ・起きやすい原因の予測(感染に伴う発熱による脱水などが多い) ・高血糖時の対処方法。緊急搬送が必要な場合
	・同居の家族がいない場合、安否確認なども含めた、定期の介護や社会資源の活用(薬剤の作用時間や日々の生活に合わせた、低血糖や高血糖を招きやすい時間帯での活用が望ましい)
認知能力	・感染症(口腔内の病変も含む)に注意する
	・合併している神経障害が及ぼす日常生活への障害に注意する ・足病変やその可能性、起立性低血圧、無自覚性低血糖、胃無力症(便通異常)などの有無
セルフケア実行度・達成度	・ADL状況とともにIADL(注:手段的日常生活動作)状況も把握する
	・入院中の指導などの進行状況と、今後も継続して指導が必要な内容
身体や心理状況	
・疾患や病状の受け入れとともに、上記実行のための負担や不安など ・患者や家族の望む生活や大切にしている人生上の思い ・透析の準備が必要な場合の身体症状や心理面	

※2:宇都宮宏子・山田雅子(編):看護がつながる在宅療養移行支援,p101,日本看護協会出版(2015)より一部改変

のではなく、病院の看護師が退院後訪問指導で在宅での療養指導を行い、地域の訪問看護師と同行訪問を行なうから訪問看護を導入するなど、少しすつ地域の医療・介護サービス担当者とのかかわりに慣れてもらいましょう。そのような段階を踏んでもらいたいと思います。その時に迅速に対応できるよう、退院前カンファレンスでは在宅チームと、患者・家族の情報を共有・確認しておいてもらいたいです。



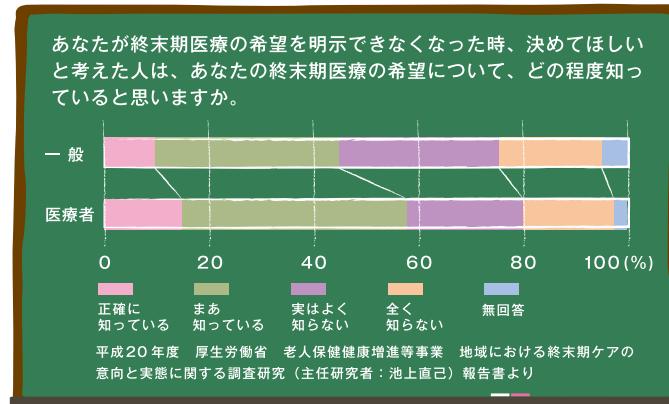
「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」って何ぞや?



私たちは、元気な時も病気の時も亡くなる時も、憲法に基づき自分の意思が尊重されます。人生が幕を閉じる時にもその意思が尊重されるには、まず自分の意思を決定し、伝え、理解してもらわなければなりません。それを助ける意思決定支援の取り組みの中で最近よく耳にする「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」って何ぞや?

一人ではできないACP

事前指示書とか遺言なども
ACP(Advance Care Planning)の定義調べてみたら、「意思決定能力低下に備えての対応プロセス全体」とか「患者の価値を確認し、個々の治療の選択だけでなく、全体的な目標を明確にさせるなどを目標にしたケアの取り組み全体」っていうことなんだけれど、いわゆる事前指示書を患者側に書いておいてることは違うの?



意思をくみとり 希望をつなぐ

僕ら医療スタッフも、意思決定支援チームの一員として多職種との連携が必要だ。今まで命を延ばすための連携は経験を重ねてきているけれど、希望をつなぐ連携というのはほとんど経験がない。それを自覚した上で、意思決定支援の意味や使命を受け止めたいもんだね。僕らの説得にならないよう、十分気をつけないと。

通常の退院支援とは、重なる部分も多いけど、違うところも知つておこう。

それに、退院先が特養だったら、医療従事者ではない特養のスタッフに不安を抱かせないことも、希望をつなぐ連携には必要な要素だよ。ちょっと野球に例えてみよう。ちょっと先発ピッチャー（病院）が、ボール（患者とその希望）をリリーフピッチャー（特養）に渡した後、ベンチには戻らずレフトの守備につくしょ。もし、リリーフピッチャーが打たれたときは、いつでも先発ピッチャーがマウンドに登れるので、リリーフピッチャーも安心して投げられる（患者の希望が施設での看取りであれば最大限施設看取りを努力する）、というわけさ。

座布団1枚!
なるほど。先生に

通常の退院支援との違い

- 安全と延命を目的とした連携から、患者の意思を叶えるための連携へ
- 時にはある程度のリスクをチーム全体で共有し覚悟する必要がある
- 本人の「どのように生きていきたいのか」を最優先にすると同時に、家族の幸せにも配慮する

■監修・資料提供
みその生活支援クリニック院長／亀田総合病院
地域医療支援部顧問／前北里大学病院トータルサポートセンター長 小野沢滋
参考
■参考
立研究開発法人
ターホームページ
亀田グループ医療ポータルサイト「もしバナ
のすめ（アドバンス・ケア・プランニング）
て何ですか？」



aging in placeを叶えるための看護の役割

少子高齢化により医療・看護の制度改革が進められ、地域包括ケアの需要が高まっています。この度、宇都宮宏子先生をファシリテーターに据え、訪問看護師と病院ナースとの意見交換という形(訪問看護師:川村幸子さん、退院支援看護師:高橋京子さん、病棟看護師:三枝由理子さん)で、医療現場での役割、現在抱えている問題点、今後の課題などについて語っていただきました。

【座談会出席者】

(写真左から)
のぞみの花クリニック 緩和ケア認定看護師 川村幸子さん
在宅ケア移行支援研究所 宇都宮オフィス 宇都宮宏子さん
東京慈恵会医科大学附属柏病院 主任看護師 三枝由理子さん
東京慈恵会医科大学附属柏病院 患者支援センター 高橋京子さん



三枝由理子さん

高橋 救急の患者さんが多いなか、高度な治療を受けた後、生活できるまでの支援が難しいことがあります。回復期の病院でリハビリを受けたまま、ベッド数に限りがあり、タックルもいるので、見て感じて知るために昨年は訪問看護ステーションに協力していただき、体験研修を行いました。

三枝 最初は全科、全年齢の患者さんが対象なので不安でした。でも、1年間やってみて、看護の基本は変わらないということがわかつてきました。訪問看護をよく知らない人は、待機が必要です。

高橋 3年ほど前から、すべての入院患者さんに面談を行っています。そのおかげで、退院支援が必要かどうかスクリーニングされて見出せるようになりました。救急患者さんも



高橋京子さん

患者さんや家族が退院後の生活をいたしました。訪問看護をよく知らない人は、待機が必要です。

患者さんや家族に語つてもらうことから

宇都宮 最近、訪問看護の現場で変わったと思つことはありますか。

川村 以前は、退院後に訪問すると「無理やり退院させられた」「帰れと言われた」という人が多かつたんですね。最近は、病院の退院調整部門で患者さんと話し合つて、意見もよく聞いてから退院するようになり、いろんな意味でスムーズですね。病院と在宅との違いも理解してくれるので、私たちも受け入れてもらいま

多く、昨年1年間の退院支援・退院調整に関する集計をしたところ、19.9%が「退院支援あり」でした。アセスメントが大事なので、「退院支援・退院調整実施患者動向」というシートを活用し、どの患者さんに支援が必要か、一目でわかるようにしています。病棟にいる患者さんに何が必要か、進捗状況を確認しながら、先のことを教えてください。

三枝 私がいる病棟は救急車で搬送されてくる重症の患者さんが多いので、支援が必要な人の割合はもっと高いかと思います。交通事故などで、脳や多発外傷がある場合、一瞬にしてADLが下がってしまいます。精神疾患をもつ人などは、長期にわたる療養が必要です。

高橋 退院支援の有無は、迷うこともあります。みんなで話し合つて、それぞれの経験から具体的な意見が出てきて、参考になります。

三枝 退院支援の有無は、迷うこともあります。みんなで話し合つて、それぞれの経験から具体的な意見が出てきて、参考になります。



川村幸子さん

宇都宮 在宅導入前に、家族面談を行つてますが、グリーフケアに繋がる家族ケアの一環として捉えているので、2時間半くらいかけてじっくり話を聞きます。「これまでの経過を話していただけますか」と問い合わせると、涙ながらに色々な思いを語られます。他にも家族を見取つた経験や、死生観なども確認します。最近は、「死んでしまった」と在宅との違いも理解してくれます。十分に語つていただくことがいちばん

宇都宮 はじめて、これまで皆さんができるように退院支援に取り組んできましたのか教えてください。

川村 私がいる病棟は救急車で搬送されてくる重症の患者さんが多いので、支援が必要な人の割合はもっと高いかと思います。交通事故などで、脳や多発外傷がある場合、一瞬にしてADLが下がってしまいます。精神疾患をもつ人などは、長期にわたる療養が必要です。

宇都宮 はじめに、これまで皆さんができるように退院支援に取り組んできましたのか教えてください。

川村 のぞみの花クリニックは、がんの患者さんを中心とした在宅緩和ケアを行っています。医療を家庭に持ち込むのではなく、生活を基盤とした医療を提供することを目指しています。当院と連携している訪問看護ステーションのスタッフともカンファレンスを通じて相談・協力し合

宇都宮 不安はあっても、家で嬉しい方の場合、自宅に帰つてからすぐ亡くなつたとしても、「帰れてよかつた」と受け止めてくれることが多いです。

宇都宮 何か問題点などはありますか。



宇都宮宏子さん

高橋 当院で看護職が退院支援に関わる多職種のスタッフが同室で業務を行うようになりました。現在、私は退院調整専従看護師として、家に帰るのが困難な事例の支援に力を入れています。

三枝 1年ほど前に育児休暇から復職した際、患者支援センターに配属されました。今年からは病棟勤務になりましたが、病棟でもなるべく早期に退院支援を開始しようと、取り組み始めました。治療による体の変化などを考慮して、退院後の生活がイメージできるようになりますが私たちの役割です。

高橋 当院は診療科が多く、救急救命センターや難病相談・支援センターがあるほか、がん診療拠点病院でもあります。そのため、我孫子、松戸、流山など隣接する市から来院される患者さんも多く、退院支援についても調整する自治体が多いのが特徴입니다。また、柏市には訪問看護ステーションが20カ所以上もあり、「柏地域医療連携センター」に相談担当を決めてラウンドし、「患者支援センター」として、このような理由で判断しました」と病棟の管理者にも伝えていました。

宇都宮 柏という地域ならではの特徴はありますか。

高橋 当院は診療科が多く、救急救命センターや難病相談・支援センターがあるほか、がん診療拠点病院でもあります。そのため、我孫子、松戸、流山など隣接する市から来院される患者さんも多く、退院支援についても調整する自治体が多いのが特徴です。また、柏市には訪問看護ステーションが20カ所以上もあり、「柏地域医療連携センター」に相談担当を決めてラウンドし、「患者支援センター」として、このような理由で判断しました」と病棟の管理者にも伝えていました。

宇都宮 柏という地域ならではの特徴はあります。

高橋 当院は診療科が多く、救急救命センターや難病相談・支援センターがあるほか、がん診療拠点病院でもあります。そのため、我孫子、松戸、流山など隣接する市から来院される患者さんも多く、退院支援についても調整する自治体が多いのが特徴です。また、柏市には訪問看護ステーションが20カ所以上もあり、「柏地域医療連携センター」に相談担当を決めてラウンドし、「患者支援センター」として、このような理由で判断しました」と病棟の管理者にも伝えていました。



宇都宮宏子さん



訪問看護模様：縁側で日向ぼっこをしながら点滴を施行中

宇都宮 グリーフケアは、亡くなつてからのものではないんですね。

川村 私が担当しているのは、がん患者さんなので、これからどう生きたいかどんな最期を迎えるといかなど、きちんと話を聞きながら、ケアしたいと考えています。

宇都宮 地域包括ケアを進めていくうえで、何ができるか、何が足りないのか。病院と自宅で関わるスタッフみんなで話し合う必要がありますよね。

宇都宮 地域包括ケアを進めていくうえで、何ができるか、何が足りないのか。病院と自宅で関わるスタッフみんなで話し合う必要がありま

宇都宮 グリーフケアは、亡くなつてからのものではないんですね。

川村 私が担当しているのは、がん患者さんなので、これからどう生きたいかどんな最期を迎えるといかなど、きちんと話を聞きながら、ケアしたいと考えています。



宇都宮 グリーフケアは、亡くなつてからのものではないんですね。

川村 私が担当しているのは、がん患者さんなので、これからどう生きたいかどんな最期を迎えるといかなど、きちんと話を聞きながら、ケアしたいと考えています。

宇都宮 グリーフケアは、亡くなつてからのものではないんですね。

川村 私が担当しているのは、がん患者さんなので、これからどう生きたいかどんな最期を迎えるといかなど、きちんと話を聞きながら、ケアしたいと考えています。

宇都宮 自宅という選択肢があることを理解してほしいですね。医療チーム、本人、家族も含めた取り組みが大事かなと感じています。患者さんの願いを受け止めて、みんなが腹をくくつてサポートすることも必要かもしれません。

三枝 在宅医療を知らないため、「家で看取るなんてとんでもない」と思っている一般の人は今でも少なくありません。一般の人の意識を変えなければと思いません。

宇都宮 病気になる前から、老いを感じたときから相談できる、かかりつけの医師、看護師をもち、自分のこととして考えてほしいです。今後、看護の立場から啓発活動のようなものでできたらと考

川村 在宅医療を経験した患者さんの家族は、「こういう医療があると知らなかつた」と口を揃えて言います。

過ごせたケースもあります。

宇都宮 グリーフケアは、亡くなつてからのものではないんですね。

川村 私が担当しているのは、がん患者さんなので、これからどう生きたいかどんな最期を迎えるといかなど、きちんと話を聞きながら、ケアしたいと考えています。

過ごせたケースもあります。

宇都宮 グリーフケアは、亡くなつてからのものではないんですね。

川村 私が担当しているのは、がん患者さんなので、これからどう生きたいかどんな最期を迎えるといかなど、きちんと話を聞きながら、ケアしたいと考えています。



施設データ

東京慈恵会医科大学附属柏病院

地域がん診療拠点病院、災害拠点病院、地域難病相談・支援センターの指定に加え救急救命センターでの三次救急の受け入れを担っている。

在院日数：14.1日（平成28年度）
退院支援件数：1212件／年

のぞみの花クリニック

柏市・我孫子市対象（クリニックより半径5km）とした在宅専門診療所（強化型在宅療養支援診療所）で、がん終末期の「在宅緩和ケア」を提供している。

在宅看取り数：246名（75.5%）
※2012年3月～2017年4月

一般の人の意識を変え
在宅医療を広めたい

宇都宮 以前、訪問をお願いしていたがんの患者さんは期間が短いとがありました。最近は、ようやく連携がうまくいくようになって、看取りまでチームで頑張ることができますね。

宇都宮 大規模な病院から在宅医療への移行は流れがでかけています。が、医院やクリニックからの移行には医師への負担が大きいという点で、難しさがあると感じます。一方、理解のある先生もいるので、医師会が交代で行っている夜間・休日の診療のように、交代で時間外の緊急往診に対応するようにすれば、負担感は減るのではないか。コミュニケーション（※2）という「情報共有」と「コミュニケーション」をサポートしてくれますね。

宇都宮 柏市には医療介護連携システム（※2）という「情報共有」と「コミュニケーション」をサポートしてくれますね。

宇都宮 柏市には医療介護連携システム（※2）という「情報共有」と「コミュニケーション」をサポートしてくれますね。

川村 柏市には医療介護連携システム（※2）という「情報共有」と「コミュニケーション」をサポートしてくれますね。

宇都宮 ある地域で、多職種のスタッフがグループメールをつくって、退院後の患者さんの様子をみんなが見られるようにしたケースがありました。誰かがスルーしてしまつても、大事な場面だと気づいた誰かが、助言できるなどのメリットもあります。

宇都宮 ある地域で、多職種のスタッフがグループメールをつくって、退院後の患者さんの様子をみんなが見られるようにしたケースがありました。誰かがスルーしてしまつても、大事な場面だと気づいた誰かが、助言できるなどのメリットもあります。

宇都宮 最後にみなさんの今後の目標などをお聞かせください。

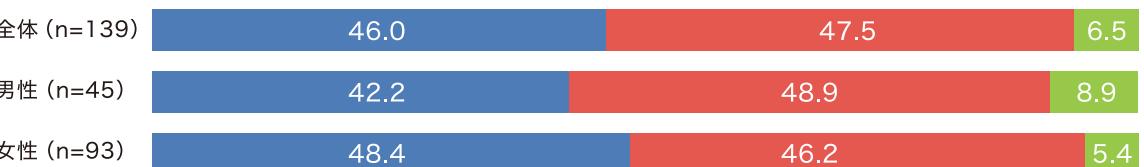
高橋 地域で暮らし続けることができるよう、在宅医療について、しっかりと共有して、治療の決定ができる医療者・家族にとって一番身近な看護師がリーダーシップを取りながら、サポートしていくべきではないでしょうか。みんなの活躍を期待しています。本日は、ありがとうございました。

宇都宮 エンドオブライフに近い人たちがどう生きるか、これからは患者・家族にとって一番身近な看護師がリーダーシップを取りながら、サポートしていくべきではないでしょうか。みんなの活躍を期待しています。本日は、ありがとうございました。

宇都宮 最後にみなさんの今後の目標などをお聞かせください。

高橋 地域で暮らし続けることができるよう、在宅医療について、しっかりと共有して、治療の決定ができる医療者・家族にとって一番身近な看護師がリーダーシップを取りながら、サポートしていくべきではないでしょうか。みんなの活躍を期待しています。本日は、ありがとうございました。

在宅医療に関する認知度調査



■「在宅医療」がどのようなことか知っている
■「在宅医療」という言葉を聞いたことがあるが、どのようなことかわからない
■「在宅医療」という言葉は知らない

（一般財団法人 地方自治研究機構 調べ）

※2 柏市が導入している医療介護連携システム（カナミックネットワーク） 株式会社カナミックネットワークが提供する、看護・介護などの専門職が効率的に連携を行うための情報共有システム。クラウドサービスで、職種・法人の垣根を越えた情報共有を容易に。



※田中先生・三鬼先生の講演要旨は次号(2号)で紹介いたします。

高齢者ではコラーゲン産生量が低下し、それにともない骨関節、血管、皮膚、眼などの機能が低下する。ハイネイケルは5.76g/400kcalに適っている。当院でのENSBOIの実際を図1に示す。

週間(3か月):①リハビリと併用し健康寿命回復、②経口摂取への完全→一部移行、③体重増加、タンパク質同化促進をめざす。

粘度可変型流動食の有用性

粘度可変型ペプチド栄養材(ハイネイケル)は、摂取時は液体だが胃内で半固体化し、脂質の約30%が中鎖脂肪酸(MCT)という特徴がある。PPI投与例では胃酸が抑えられるためゲルにならない場合があるので、胃食道逆流対策として、食後に乳酸Ca投与が勧められる。

粘度可変型流動食の有用性

粘度可変型ペプチド栄養材(ハイネイケル)は、摂取時は液体だが胃内で半固体化し、脂質の約30%が中鎖脂肪酸(MCT)という特徴がある。PPI投与例では胃酸が抑えられるためゲルにならない場合があるので、胃食道逆流対策として、食後に乳酸Ca投与が勧められる。

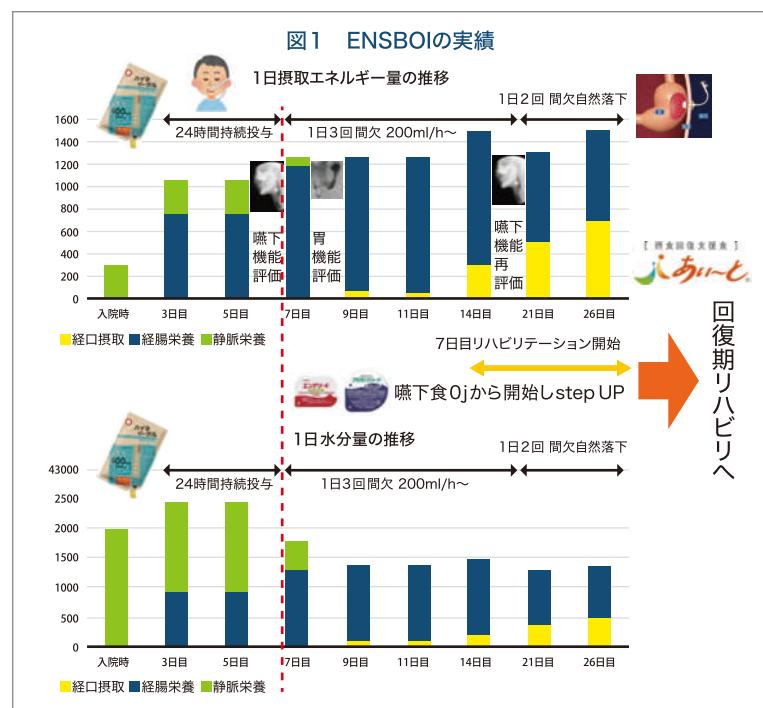


図1 ENSBOIの実績
骨芽細胞刺激・増殖…10g以上

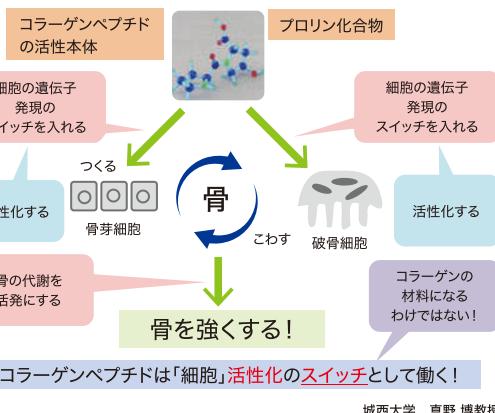
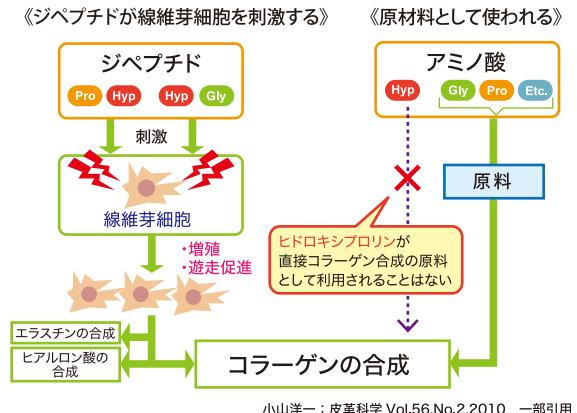


図2 コラーゲンペプチドと創傷治癒
線維芽細胞刺激・増殖…5g以上



早期経口摂取のための栄養管理の新潮流

Acute Stroke 患者に対する アウトカムを生む地域包括経腸栄養ケアの実践

わが国では、高齢化の進行により脳卒中有病者数は2025年まで増加傾向にある。脳卒中発症後の患者に対する適切な栄養管理は、経管栄養から経口栄養への橋渡し(ENSBOI)として高齢者の健康寿命回復に貢献できる可能性が大きい。急性イベント後の高齢患者の生活をいかにサポートしてゆくかをテーマに、本セミナーは、大阪・東京・名古屋の3か所で開催された。本誌今号のテーマ「退院支援～地域での暮らしを支える」に関連し、「地域包括経腸栄養管理」を提唱する水野英彰先生の講演要旨を紹介する。【取材・執筆】西谷誠(ニュートリション・アルファ)

今号のご紹介は



医療法人社団悦伝会
目白第二病院副院長
／外科・消化器科
水野 英彰先生

- 5月 14日 大阪会場 (ツイン21MIDタワー)
- 6月 4日 東京会場 (エムワイ会議室高田馬場)
- 6月 25日 名古屋会場 (ダイテックサカエ クリエイトホール)

「Acute Stroke患者に対するアウトカムを生む地域包括経腸栄養ケアの実践—認定看護師を中心とした新たな経腸栄養管理 ENSBOIの実践—」

医療法人社団悦伝会 目白第二病院 副院長・外科消化器科 水野英彰先生

「経営視点から見た栄養管理～経腸栄養施行時のトラブル対策の意義～」

株式会社メディカルクリエイト 経営コンサルタント 田中智恵子先生

「脳卒中急性期における経口移行プロトコールの実践」

藤田保健衛生大学病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 三鬼達人先生

急性イベント発症後の栄養管理が重要

厚生労働省の調査によると、高齢者の約2割は低栄養の傾向にある。また、西多摩圏域の高齢者を調査したところ、約1割がフレイル状態にあると推測された。低栄養状態では負のスパイラルに陥り、急性イベント率が上昇する。

自施設で急性イベントを発症した236症例をみると、平均BMIは17.52、平均下腿周囲長24.2cm。運動的栄養指標ではO-PNI 38.1 ± 5.4 、TP 5.9 ± 2.1 g/dl、アルブミン 2.8 ± 2.3 g/dl、プレアルブミン 14.3 ± 4.7 g/dl。栄養状態は悪かった。こうした患者には早急に栄養補給をする必要があるが、経口摂取による栄養管理にはハードルが多い。急性イベント後に最適な栄養管理を行い全身状態の回復を目指すことが必要となる。西岡らによるAPPLEスタディでは、低栄養が摂食嚥下機能回復を妨げる重要な因子であることが示されている。

急性期脳卒中患者では嚥下障害が高率で起こり、栄養状態回復/持回復、②静脈栄養からの離脱、③体重減少またはタンパク質異化抑制、を目的とする。経鼻胃管による液体栄養剤を中心とした経腸栄養管理がよい。経腸栄養に求められる機能性としては、抗炎症、腸内環境の安定化、タンパク質異化抑制、消化吸収負担の少ない組成があげられる。

Enteral Nutrition Support for Bridge to Oral Intake(ENSBOI)

ENSBOIは急性イベント後から1週間:①イベント後の全身状態維持回復、②静脈栄養からの離脱、③体重減少またはタンパク質異化抑制、を目的とする。経鼻胃管による液体栄養剤を中心とした経腸栄養管理がよい。経腸栄養に求められる機能性としては、抗炎症、腸内環境の安定化、タンパク質異化抑制、消化吸収負担の少ない組成があげられる。

認定看護師を中心とした新たな経腸栄養管理 ENSBOIの実践

維持には早期からの受動栄養管理が重要となる。「重症患者の栄養管理ガイドライン」(日本集中治療医学)では、静脈栄養と比べ経腸栄養では感染性合併症が低率で経腸栄養を強く推奨するとされ、その他の学会のガイドラインでも早期経腸栄養が推奨されている。



医療法人社団悦伝会
目白第二病院副院長
水野 英彰

ナースマガジンが創刊されてからこの5年の間には、2025年問題を見据え、医療政策には様々な変化がありました。来年度は、医療・介護保険の同時改定が行われ、高齢者医療をめぐる動きも刻々と変わっていくでしょう。健康寿命の回復・延長、医療費抑制、という命題を持つ高齢者医療において、多方面からのアプローチでアウトラインを得るために、たくさんの引き出しが持ったナースの皆さんがキーマンになると僕は思っています。これからも、手と目を動かす「看」護に役立つ情報をたくさん提供してくれる、ナースのための「ナースマガジン」に期待します。



医療法人財団松圓会東葛クリニック病院
透析看護認定看護師 透析統括師長
喜瀬 はるみ

この度は、ナースマガジン創刊5周年おめでとうございます。現在、臨床現場では医療の進歩と同時に技術は複雑化を増し、また高齢化に伴い、医療の提供の場も多様化する等、状況は大きく変化してきています。そんな中、各分野の専門家と看護師とをつなぐ情報誌『ナースマガジン』は、現場で活かせる豆知識や、専門家に質問ができる等、コンテンツが豊富に揃っており、悩める看護師の強い味方となっております。これからも益々充実した情報発信を期待しています。



足のナースクリニック 代表
一般社団法人
日本トータルフットマネジメント協会 会長
西田 壽代



医療法人社団三喜会鶴巻温泉病院
栄養サポート室 室長
高崎 美幸



西山医院 院長
西山 順博

“ナースマガジン”発刊5周年おめでとうございます。疾病回復のためのナーシング、医師が円滑に診療を行うためのナーシングといった日常の業務に追われているナースの方も多いのではないかといった熱意はあるし、もちろんナイチンゲール精神も健在だけでしょうか? 細かいところでも、認定ナース等の資格を取る時間はない…。そんなナースがお昼の休憩時間にちら読みできるのが、わずか厚さ1mmの“ナースマガジン”だと思います。すぐに活かせるエキスパートナーシングのコツが満載! ぜひ、多くのナースにお読みいただき、そして、患者さんに寄り添い、患者さんの笑顔でいっぱいの医療現場が多くなればいいですね!! これからも、疾病だけではなく患者さんを見ていたためのヒントが満載の“ナースマガジン”でいてください。



訪問診療ネットワーク
医療法人社団若葉会
湘南食サポート歯科
三幣 利克

創刊5周年おめでとうございます！いつも興味深い記事で毎号手元に届くのを楽しみしております。歯科医師の立場として、口腔機能の回復維持が要介護を遅らせ健康寿命の延伸に貢献することが知られつつある昨今、国民の健康寿命に資することになる「口腔機能低下症」に関して特集してみてはいかがでしょうか。



在宅ケア移行支援研究所
宇都宮宏子オフィス
宇都宮 宏子

創刊5周年、おめでとうございます。現場で忙しいナースたちが、ふと手に取って、わかりやすく、また頑張ろうって思える、そんなナースマガジン、これからも目指してください。ナースが働く場所や場面も様々に広がっています。施設や在宅事業所で頑張っているナースたちにも読んでもらえるといいですね。医療・看護のパラダイムシフトが求められている今、日々の仕事に追われるだけでは、見えないこともたくさんあります。変革を求められる時代の道案内になるような、ワクワクする企画を期待しています。



国立研究開発法人
国立国際医療研究センター
リハビリテーション科 医長
藤谷 順子

ナースマガジンさんには、具体的な情報、使える情報とともに、読者が元気になるような情報を掲載していただきたいと思います。質問コーナーで用語解説や、適切な書籍やサイトの紹介をするなど、双向性の部分をつくり、次第に、ネットコンテンツなどにアップしていくだければ、役に立つし、いつでも後からでも見ることが出来るので便利だと思います。



日本医科大学千葉北総病院 看護師長
皮膚・排泄ケア認定看護師／
特定看護師
渡辺 光子

ナースマガジン創刊5周年おめでとうございます。創刊号では褥瘡ケアが特集され、私も微力ながら協力させていただいた思い出があります。ナースマガジンは、気軽に手に取れて読みやすいだけでなく、ナースに役立つトピックスがコンパクトに取り上げられているのが良いですね。これからも、最新情報をわかりやすく発信していただけることを期待します。



うさぎ薬局修善寺店
加治 亜世

創刊5周年おめでとうございます。超高齢化時代にむけて、地域包括ケアシステムの構築が必須です。ナースマガジンでも、地域包括ケアシステム構築へ向けた取組を特集してみてはいかがでしょうかまた、薬に関する疑問や薬剤師への要望などもお待ちしております。

NURSE MAGAZINE

本誌はこの20号で創刊5周年を迎えることができました。これもひとえに愛読者の皆様、執筆や取材にご協力いただいている皆様、手配りでお届けくださっている医療機器卸会社の皆様のおかげです。たくさんのお祝いコメントをいただきましたので、ご紹介させていただきます。これからも、読者の皆様と一緒に「ナースマガジン」を育てていきたいと思います。ご意見・ご要望など、どしどしあ寄せください。(編集部)

**お知らせ 神奈川区
在宅医療連携拠点**

多くの方が病気を抱えても住み慣れた家等で療養し、自分らしい生活を続けたいと望んでいます。そのためには、医療・介護の連携が必要です。
市民の皆様が安心して、継続的な在宅医療・介護を受けることができるよう、医師会と横浜市で在宅医療支援のため新たな取り組みを始めました。

【ご利用できるご相談例】

- 医療依存度の高い人が退院するが、療養の相談をしたい
- かかりつけ医がない、往診可能な医師を探している
- 専門職（歯科医、薬剤師等）の助言を仰ぎたい
- 神奈川区内の在宅医療資源について情報が欲しい
- 訪問看護や訪問リハビリの空き状況が知りたい
- かかりつけ医をサポートする医療機関を探したい

神奈川区在宅医療連携拠点
住所：横浜市神奈川区反町1丁目8番地4 はーと友神奈川3F

図 神奈川区医師会ホームページより

「医療と介護の歩み寄りが必要だと感じていることは、次の二つのことです。
①言葉・用語・略語が違すぎて、お互いに理解できていないことが多い。
②時間…医療スタッフは診療終了後の夜を希望、介護スタッフ（福祉・行政スタッフも）は日中の時間を希望するので、会合の時間の調整が必要。
さらに、暮らしをサポートするには、医療と介護だけでは不十分で、福祉・行政との情報共有も重要です。これまで福祉関係者と同席する会議が少なかつたので、この連携会議の開催に当たっては、地域包括支援センター宛に医師会長から、年間計画を添えた案内状を送っています。
患者に何が起きていて、何に困っているかを共有するための会議なので、ここで共通認識を持たないと連携はうまくいきません。訪問時に患者の状態が悪くなっていると、医療スタッフはその経過や状況を把握するために、日々ケアにあたっている介護スタッフに様子を尋ねます。しかし、それが介護スタッフには『責められているようで怖い』、と受け止められがちなのです。そうなると『様子を報告しても質問に答えるのは苦手だな』、という気持ちが働いてしまい、連絡が入らなかつたこともあります。まさに、『ここで連絡がもらえていたら』という時に、介護スタッフが躊躇してしまったようです。

患者の身体に関わることなので、できるだけ早くこの溝を埋めたいのですが、「怖い」「話しにくい」と思われるなど、医療スタッフ側の工夫も必要になります。

医療と介護だけでは不十分で、福祉・行政との情報共有も重要です。これまで福祉関係者と同席する会議が少なかつたので、この連携会議の開催に当たっては、地域包括支援センター宛に医師会長から、年間計画を添えた案内状を送っています。
患者に何が起きていて、何に困っているかを共有するための会議なので、ここで共通認識を持たないと連携はうまくいきません。訪問時に患者の状態が悪くなっていると、医療スタッフはその経過や状況を把握するために、日々ケアにあたっている介護スタッフに様子を尋ねます。しかし、それが介護スタッフには『責められているようで怖い』、と受け止められがちなのです。そうなると『様子を報告しても質問に答えるのは苦手だな』、という気持ちが働いてしまい、連絡が入らなかつたこともあります。まさに、『ここで連絡がもらえていたら』という時に、介護スタッフが躊躇してしまったようです。

地域ごとの事情を考慮し持続可能なシステムを

連携の第一歩はお互いの仕事や困りごとを理解し、ねぎらい合える関係を築くことだと思っています。「お互いに歩み寄ろう」ということで、医師会から参加協力をお願いしています。

20年以上前から一貫して、職種間の連携は、お互いの困りごとの理解から、言い続けてこられた赤羽先生のアプローチは、ここでも必要のようです。

連携拠点の相談担当者の条件については、刻々と状況が変わっています。平成24年度時点での基準は、「ケアマネジャーの資格を持つ看護師等及びMSWを必ず配置する」とでした。一方、横浜市では、「ケアマネ資格を有する看護師2名」（図）と定め、全国基準よりも厳しい条件でスタートしました。それは、連携拠点事業の導入前からこの趣旨と同様の取組を行っている区があり、すでにこの条件をクリアしていたためです。その後、神奈川区医師会の訪問看護ステーション（※次ページ参照）は、立ち上げ後でスタッフが少ない時期であったため、この厳しい条件を受け入れられたのは、看護師たちの強い使命感のおかげでした。

しかし現在の横浜市は、「ケアマネ資格を有する看護師に加えて、ケアマネ資格を有するMSWや薬剤師、歯科衛生士等の配置も可」と、薬局や歯科と

全国展開を掲げるからこそ、その地域の事情に合わせ、間口は広く、自由度の高い取り組みを検討し、持続可能なシステムとなつてほしいのです。

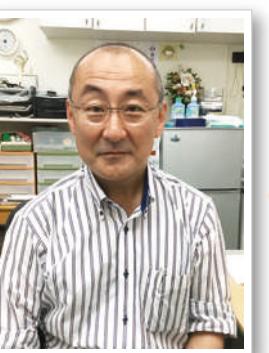
連携拠点は“個人タクシーの配車センター”だ

平成30年度から全国の区市町村で実施される「在宅医療連携拠点事業」は、暮らしの中に適切な医療が提供される仕組みをコーディネートする事業といえるでしょう。今回紹介する神奈川県横浜市では、18区すべての医師会が訪問看護ステーションを運営し、横浜市在宅医療連携拠点となっています。同市で13番目に拠点事業を開始した神奈川区医師会副会長、西神奈川ヘルスケアクリニック院長の赤羽重樹先生に、神奈川区の取り組みを通して本事業のあり方についてお話をうかがいました。（編集部）



地域包括支援センターは、高齢者とその家族の暮らしをサポートする拠点としての地域の窓口です。それに対して、在宅医療連携拠点は医療をサポートする窓口です。暮らしの中での医療は、生活優先で後回しにされがちとはいうものの、適切な医療処置が行われることによって暮らしが安定することも事実。医療職は異常の早期発見と対処、介護職は生活の継続に必要なケアとというそれぞれの視点から「暮らし」にアプローチします。

在宅医療連携拠点の役割



赤羽重樹先生

病院で内科の救急医療に携わり、初対面で積極的に救命することがすべてのケースで良いことなのか否か、というジレンマに陥っていました。救急搬送される前のいきさつ、退院した後の経過を知ることで、少しでも不幸な救急搬送が減らせないだろうか、と感じるようになり、2007年から開業医として在宅医療に関わることにしました。（西神奈川ヘルスケアクリニック院長）

横浜市在宅医療連携拠点の取り組み

- ①地域の医療・福祉資源の把握及び活用
～地域の医療機関等の分布を把握
- ②在宅医療・介護連携に関する
多職種連携会議の開催(2回／年)
- ③事例検討会の開催(10回／年)
- ④医師向け研修
- ⑤医師の学区アップ体制
～主治医・副主治医制等のコーディネート
- ⑥地域包括支援センター・介護支援専門員・
介護サービス事業者等への支援
～介護支援専門員からの在宅医療・
介護に係る総合的な問い合わせへの対応
- ⑦後方支援病院の確保
- ⑧市民向け広報

さまざまな疾病を引き起こすAGES。 体内に溜めない生活を！

様々な食べ物に含まれ、私たちが日々取り込んでいる AGES。食欲をそそる一方、身体に及ぼす影響もあることを知っていますか？ 調理法や生活習慣に気をつけて、老化や疾病の原因を取り除きましょう。



西山医院(滋賀県)院長

AGESとは？

糖とタンパク質に熱を加えると…

AGES(エイジス、エイジズ)とは、Advanced Glycation End Productsの略で、終末糖化産物と呼ばれます。タンパク質

(アミノ酸)と糖は結合すると様々な反応を起こしますが、加熱によってさらに反応が盛んになります。反応を繰り返しながら褐色の色素に変化し、メラノイジンと呼ばれる物質が生じます。これをメイラード反応といい、食品の場合は色が褐色になりおいしさが増します。

AGESはほとんどの食品に含まれていますが、特に、揚げたり焼いたり炒めたりした動物性脂肪食品(フライドポテト、ステーキ、唐揚げなど)に多く含まれます。食材の調理法によって発生するAGESの量も変わります。

AGESによる身体への影響

老化を進める AGES

この AGES が体内に溜まる過程は、AGESを含むものを食べて蓄

積されるパターンと、血糖値の上昇によって糖と体内のタンパク質が結合し、体温による加熱で糖化が起こり生じた AGESが蓄積されるパターンがあります。体内に取り込まれた AGESは、ある程度消化・分解されますが、約7%は体内に蓄積されます。

そのような過程を経て、私たちの身体を作っているタンパク質は様々な壊器で AGES化します。それは老化の一因となり、加齢性慢性疾患の引き金になると考えられています。

- ▶ 皮膚の老化 : 肌のコラーゲンが長時間体温で加熱され、紫外線の影響も加わり変質し、弾力が失われてシワ・たるみ・しみなどの原因に
 - ▶ 血管の老化 : 血管の弾力が失われて硬くなり血栓を生じやすくなることで、動脈硬化・脳梗塞・心筋梗塞の原因に
 - ▶ 骨の老化 : 骨のコラーゲンが糖化すると骨密度が低下し骨粗鬆症の原因に
 - ▶ 目の老化 : 水晶体のタンパク質糖化と紫外線による酸化の影響により、白内障の原因に
 - ▶ 赤血球の老化 : 高血糖状態の続く糖尿病の合併症(神経障害、網膜症、腎不全など)に悪影響など
- HbA1C は、赤血球に含まれるタンパク質(ヘモグロビン)が AGES に変化する手前の糖化物質です！

AGESを溜めないための心がけ

血糖値を上げない食生活を心がけ、体内で発生する AGESを少なくすることが大切です。また、同じ食材なら、「揚げる・焼く・炒

める」よりも温度を100°Cまで抑えられる「煮る・ゆでる・蒸す」などの調理法にすると、AGESの発生を抑えられます。メニューの偏りを避けてバランスのよい食事を心がけましょう。

日々の疲れやストレスを食事で発散させている方は、特に気をつけてくださいね。

- ▶ 食事はゆっくり、よく噛んで食べる
- ▶ 糖の吸収をブロックするものから食べる
食物繊維 ⇒ タンパク質 ⇒ 炭水化物の順で (19号P18参照)
- ▶ 腹八分目を心がける
- ▶ 食後に軽い運動をする
- ▶ 人工甘味料*(果糖ブドウ糖液糖・異性化糖など)が含まれている飲食物を避ける
※ブドウ糖に比べ AGES が10倍も速く作られる

食品・調理法別 AGE含有量 (AGE 値: ku/100g)	
牛肉(生)	707
牛肉(ステーキ/超レア)	800
牛肉シチュー	2,657
牛肉(ステーキ/フライパン)	10,058
牛肉(直火焼き)	7,497
フランクフルト(ゆでる)	7,484
フランクフルト(直火焼き)	11,270
ミートローフ	1,862
ミートボール	2,852
ハンバーガー	5,418

在宅医療連携拠点事業を支える 訪問看護師の底力

看護師：常勤5名、非常勤1名

(常勤換算5.6名)

ケアマネジャー：常勤1名

事務：専任1名



▲管理者
木村光代看護師

今回お訪ねした神奈川区医師会メディカルセンター内の訪問看護ステーションは、同区の在宅医療連携拠点でもあります。訪問看護歴20年以上のベテランナース木村光代さんに、看護師からみた本事業について、お話をうかがいました。

Tel: 045-322-2885 FAX: 045-322-2884

動き始めた連携拠点

当区の訪問看護ステーション(以下ステーション)は、拠点事業を引き受けた上で、在宅医療連携拠点事業を引き受けた方に合わせて、こちらに転職してきたのです。同じ区内とはいえ、わからなうことだらけでスタートしたのが2015年9月でした。地域包括支援センター(以下包括)と連携して活動していますが、誰がどこにどんな相談をしているのか、地域の民生委員がどういう相談を受けて困っているのかなど、初めて知ることはかりです。医師会の先生方とは顔なじみで話しやすく、蓄積された事例から、これは地域全体の問題となつたときに、医師会主導で発信してもらえるのは、医師会立ステーションに所属する看護師のメリットですね。

訪問看護師は、医学的な知識と日頃のネットワークを通じて蓄えた情報を駆使し、生活をトータルコーディネートします。例えば、包括からターミナルの患者さんを支えるチーム調整の依頼を受けた時、医療依存度が高く家族調整が難しくて介入が多くなりそうなケースは、まずかかりつけ医を決め、その医師が連携しやすいステーションや訪問介護、急性期や末期に慣れているケアマネなどでチームを作ります。大きな問題を抱えていなければ試行錯誤しながら新しいチームを作っていくのですが、そうではない人はその時に最善の手を打たない間に合わせて、実績に基づいた調整になります。

訪問看護の力が活きる

訪問看護師は、医学的な知識と日頃のネットワークを通じて蓄えた情報を駆使し、生活をトータルコーディネートします。例えば、包括からターミナルの患者さんを支えるチーム調整の依頼を受けた時、医療依存度が高く家族調整が難しくて介入が多くなりそうなケースは、まずかかりつけ医を決め、その医師が連携しやすいステーションや訪問介護、急性期や末期に慣れているケアマネなどでチームを作ります。大きな問題を抱えていなければ試行錯誤しながら新しいチームを作っていくのですが、そうではない人はその時に最善の手を打たない間に合わせて、実績に基づいた調整になります。



スタッフ集合!!

「最近兄はご飯が食べられないでの相談をしたら、まずは介護保険の申請をするとよう勧められた」というのです。細かく聞いてみると、飢餓、脱水の状態だと思われ、訪問した時には下顎呼吸が始まつていました。家の様子から、弟さんは一人でのお兄さんの介護は相当大変だったであろうことがうかがえ、ここまでの手助けも得られなかつたのか、どう思いで救急搬送の手配をしました。入院先で医療を受けて翌日亡くなり、自宅に帰られました。

医療の眼が入らなければ、おそらくかかりつけ医もなく自宅で亡くなられ、警笛を鳴らしても、連携拠点の存在意義があるたつた1日の医療介入の意味ですね。そしてそのチームがどうだったかの評価を訊きやすいことも、医師会立のメリットだと感じます。

ある日、家族から相談を受けた医師から「気になるので一度話を聞いてみてほしい」との連絡が拠点にありました。電話をしてみると、高齢の兄と兄を介護している弟の二人暮らしどでした。

医師の活動歴を重視した配置基準が望ましいと考えます。改めて全国統一事業となつたとき、同じような活動をしてきた人たちをどう統一性や効率性を考えていくかが問われるでしょう。人が替わるとシステムが変わるように、それぞれの専門性を活かしながら良いと思います。新しい人が一緒にやつてみたいと思えるようなシステムを作りたいないと、後継者は生まれません。そこで地元に合う自由なプログラムを組めたのが変わるのは、質が保てません。

今は事業予算に對してこれをやりなさい、という仕組みですが、市区町村単位での連携を推進するのなら、その予算でその地に合う自由なプログラムを組めばいいかと思います。新しい人が一緒にやつてみたいと思えるようなシステムを作りたいと、後継者は生まれません。この地域に本当に必要なものは何かと云う議論を共有してバトンを渡していくのです。私たちも、高齢化と無縁ではありませんから（笑）

新連載!

ナースのイキイキワーキング!

今号から、亀田メディカルセンター コーチ929に「ナースのイキイキワーキング!」を担当していただきました。「929」は、センターの所在地、鴨川市東町929からとったもので、この地に根をはって着実に進んでいこうという意味が含まれているそうです。仕事上のストレスや部門間でのコミュニケーション不足などで職場の空気が停滞しないよう、職場活性化の活動を紹介します。

第1回 イキイキと働く職場をつくるためには?



亀田メディカルセンター
コーチ929代表 新井和博さん

亀田リハビリテーション病院
事務長/理学療法士

イキイキと働くためには?

看護師の仕事は、命に携わるとても責任のある仕事です。責任に加え、24時間体制の勤務、患者の急変などを想のつかない仕事、同時に行われる多くの業務など、非常にストレス要因の高い職場です。その中でイキイキ働くためには、自分の成長を感じ、モチベーションを高くすることが必要といわれています。さらには看護のみではなく他部門と一緒に協力していくことも大切だと思います。

医療は、答えが一つではなく結果は不確実性の多い分野で、どのようなのが、「答えは一つではなく、無限にあること」「選択肢は多いほど良い」と理解する風土をつくることです。目の前の問題だけにとらわれるのではなく、ビジョンやコンセプトを皆で共有していくことで、職場内にその風土が根付いていくこと。

私の体験

10数年ほど前に、仕事のことなど、とても悩んでいた時期がありまし

た。頭の中が真っ白になり、簡単に自律的に働くことができます。

ます。風土が根付けば、自信を持つことでもできなくなるような状態に陥りました。このとき、ある看護師にコーチングをしてもらうチャンスがありました。1回1時間程度、月に数回、約半年の間、コーチングを図り、職員が生き活きと仕事をする。職員自らが自発的に行動し発言できる職場になることで患者さまへサービスを向上し、より良い医療を提供する』ことです。そしてコーグチームの目的は、「職場の活性化を図り、相手の能力を出し、相手の自発的な行動を促す。目標への取り組みを通じて、自己成長・自己変革をサポートする』ものです。

最近では、いろいろな部署の勉強会に参加して

『今どのような状態なのですか?』『大変だったのですね』『あなたが本当にしたいことはなんですか?』『どう

な方法があると思いますか?』『何から始めますか?』などの会話を通じて、最後にはいつも『あなたならではあります。がんばりましょう』と言つてくれました。

それでは、悩みの原因を自分自身ではなく他人や環境のせいばかりにして、何も解決しようとせず、たまたま文句を言つていいだけでした。それがコーチングにより、徐々に『これをしたい、あれをしたい』など前向きな表現ができるようになりました。

だただ文句を言つていいだけでした。それから抜け出せることができ、今では何かにぶつかった時も、自分の力で

伊キイキと働くためには、自分の強みや良い所を知る・自分のしたいことを見つける・自分から環境を変えていく、そういうことが大切だと感じました。この時の体験は、今も私の原動力になっています。

※ワールドカフェ・ガフェ、にいるようなりラックスした雰囲気の中、参加者が少人数に分かれたテーブルで自由に対話をを行い、ときどき他のテーブルとメンバーをシャッフルしながら話し合いを発展させていくこと。

き
み
訊いて! 視て! 読んで! 参加して!
臨床に役立つ看護を学べる会員制サイト

ナースの星
Q&Aオンライン

ナースの星Q&Aオンライン

ナースの星Q&Aオンラインとは?

<http://www.nurse-star.jp>

ナースの星Q&Aオンラインは8つのケア領域のスペシャリストとQ&Aができる会員制Q&Aサイトです。25名のスペシャリストがQ&Aや動画、コラムを通じてスキルアップや知識アップのための学びを提供します。

8つのケア領域をご用意!

new!透析ケア、口腔ケア、認知症ケア、PEGケア、褥瘡ケア、フットケア、摂食嚥下障害者ケア、感染対策
(呼吸器ケア、循環器看護などのカテゴリーも追加予定)

透析ケアの質問募集中!



f 手軽に利用できるようFacebookのアカウントで簡単に登録出来るようになりました!



数十本ある講義動画の視聴や専門家Q&Aの履歴検索、質問投稿、看護技術向上支援研修会の優待ご案内などのコンテンツサービスを会員登録する事でご利用いただけます。是非皆様にナースマガジン編集部が運営するナースの星Q&Aオンラインを試してみていただきたいと思っております。皆様のご登録をお待ちしております。

全てのコンテンツサービスが無料で利用できるようになります!

1.会員登録時に『MIS地域パートナー(医療機器卸)』をご入力いただくこと

※既存会員の方もMYページにある『会員情報編集』より登録可能。

2.ナースマガジン本誌の送付希望で『有』を選択していただくこと

※MIS地域パートナー登録している医療機器卸販売会社とコンタクトが取れない方はこちらをご利用ください。

登録方法

会員登録方法は3通り!

①FAX

お近くの医療機器卸販売会社(MIS地域パートナー)の営業担当へ専用の会員登録用紙を請求ください。
(医療機器卸販売会社のホームページからもダウンロード出来ます)

②パソコン、スマホ、携帯

<http://www.nurse-star.jp>

パソコンサイトは、トップページ右上の会員登録ボタンから、携帯、スマホからは url@nurse-star.jp へ空メールして会員登録して下さい。

※登録フォームにある「MIS地域パートナー」の選択を忘れずに!

会員登録メリット

- WEBを通じて専門家に質問投稿しアドバイスがもらえる。
- 専門家Q&Aの履歴を検索・閲覧ができる。
- コラムなどの専門コンテンツも豊富。
- 多数登録されている講義動画を視放題。
- 掲示板が利用可能で、会員同士でコミュニケーションを図れる。
- 各地域で行われるセミナーエベントに優待価格で参加できる。

③団体一括申込み

病院単位など、多数人数がいる場合、エクセルで一括登録などもできます。医療機器卸販売会社(MIS地域パートナー)の営業担当、もしくはナースマガジン編集部まで、お気軽にご相談ください!

何ぞやシリーズ

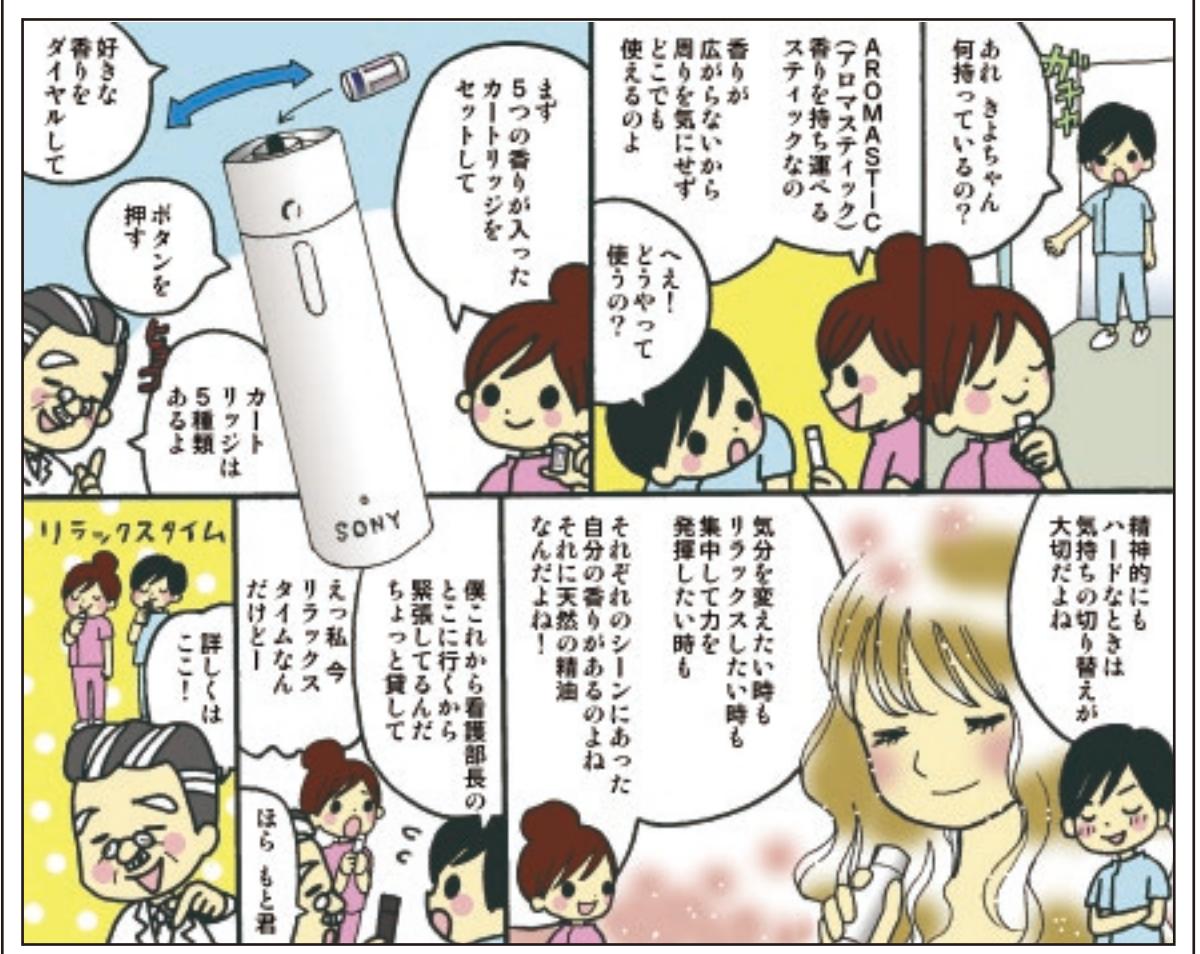
(アロマスティック)
ソニー「AROMASTIC」って何ぞや?

野寺先生 きよちゃん もと君

番外編

お気に入りの香りがそばにあると、リラックスできて気分転換にもなりますよね。でも、アロマディフューザーやキャンドルは持ち歩けない…。そんな皆さんにおススメしたい、どこへでも自由に持ち運べる香り、ソニー「AROMASTIC(アロマスティック)」って、何ぞや?

作画：上田みう 制作：マンガエッグ・エンターテイメント



進める香り、私のスイッチ
AROMASTIC

今ならAmazonで、**500円OFF**

Amazon First Flight 店にて注文確定時に、下記クーポンコードを入力すると表示価格より500円引きでご購入いただけます。

クーポンコード **KJA58YGW**

対象商品：AROMASTIC 本体 OE-AS01(B)、OE-AS01(W)
オールインワンキット OE-AS01AK1
スターターキット OE-AS01SK1

対象期間：2017年8月28日23:59まで
ただし、7月27日18:00～8月1日10:00を除く。
気分が悪くなった時は、ただちに使用を中止してください。

只今、病院スタッフ向けに
「AROMASTIC」モニター体験実施中!

モニターの声 「私は責任ある立場でストレスを感じやすい…午後、集中力がなくなった時や緊張する会議の前のリラクスタイルに使いました！」 50代 看護部長

「異動で新しい業務担当になり、普段から不安なども感じやすいです。そんな時にAROMASTICは個人だけの空間で、色々な違う香りを楽しめるのがとても良いです！」 40代 看護師長

「毎日忙しい業務。よく普段からストレッチやマッサージをしています。AROMASTICはメンテナンスが楽で、使いやすく簡単だし仕事が一段落した時や他スタッフと談笑中に使用しました！」 30代 看護師

※この意見はあくまでも個人によるもので、効果などを保証するものではありません。

商品の詳細はこちら **ソニー アロマ**
scentents.jp/aromatic/

2
名様!

新しいチャレンジをしたいあなたへ、持ち運べる5つの香り
ソニー「AROMASTIC(アロマスティック)」スターターキット。
5つの香り*で毎日をより自分らしく。

※メリッサ、ティートリー、ハーバルフレッシュナー、ペパーミント、ベルガモット

- カートリッジは1日10秒10回のご使用で1ヶ月程度お使いいただけます。
- 外箱のアルミパックに記載の製造年月より4ヶ月以内を目安に使用を開始してください。
- 本体は約2時間の充電時間で、約1ヶ月お使い頂けます。
- バッテリーにリチウムイオン二次電池を使用しています。



AROMASTIC スターターキット

応募方法

アンケートにお答えの上、下記の方法でお送りください。

応募締切 **9月30日(土)**

- ①商品名 ②お名前 ③生年月日 ④住所 ⑤電話番号 ⑥勤務施設名 ⑦勤務施設の種類 ⑧勤務先の所属科目
⑨興味のあった記事（3つまで）⑩ナースマガジンへのコメント・ご要望など ⑪AROMASTICに関する情報受け取りの可否
⑫メールアドレス

ホームページから <http://medi-banx.com/present/>
FAXの方 **03-5785-2295**

- ご記入いただいた個人情報は第三者に無断で開示・提供することはございません。
■プレゼント当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

携帯サイトからも▶
応募できます。

お知らせ 第1回 最期まで口から食べられる街づくりフォーラム全国大会(タベマチフォーラム)

最期まで口から食べることを楽しむ街づくり～見つける、つなぐ、結果を出す、そして広める～

日 時：2017年9月3日（日）10:00～16:30

会 場：東京富士大学 二上講堂（高田馬場）

講 演：食支援による京の町づくり 荒金英樹先生（医師・京滋摂食・嚥下を考える会代表）

新宿流「最後まで口から食べることを楽しむ街づくり」実践法 五島朋幸先生（歯科医師・新宿食支援研究会代表）

多職種フォーラム：「最期まで口から食べるためにすべきこと」新宿食支援研究会「食」のスペシャリストの皆さん

対 象：医療・介護職および街づくりに興味を持った一般の方

参加費：¥3,800（当日¥5,000）

主 催：新宿食支援研究会

「戦略的新宿」「文化の京滋」から学ぶ！

※詳細・申し込みは新宿食支援研究会HPから

★ナースマガジンは、下記の医療機器卸会社にて配布しております。
●MISパートナー一覧（医療機器卸）

北海道	株式会社竹山	011-611-0100
北東北	共立医科器械株式会社	019-623-1205
南東北	株式会社秋田医科器械店	018-839-3551
北関東	株式会社シバタインテック	022-236-2311
甲信越	サンセイ医機株式会社	024-944-1127
北陸	株式会社栗原医療器械店	0276-37-8586
東海	マコト医科精機株式会社	055-273-0333
関西	株式会社上條器械店	0263-58-1711
中国	源川医科器械株式会社	025-229-7766
四国	富木医療器株式会社	076-237-5555
九州	株式会社ミタス	0776-24-0500
	株式会社名古屋医療科商會	052-723-5400
	株式会社三笑堂	075-681-5131
	宮野医療器株式会社	078-371-2227
	ティーエスアルフレッサ株式会社	082-501-0316
	四国医療器株式会社	087-851-3318
	日新器械株式会社	088-641-5111
	アイティーアイ株式会社	092-472-1881

※上記のエリア以外の方は、下記のメールアドレスへお問い合わせください。
ナースマガジン編集部 info@medi-banx.com